

### 取扱い上の注意事項と応急処置

1. 目に入った時、皮膚に触れたりすると炎症を起こすことがありますので、保護眼鏡、保護手袋等を着用して下さい。
2. 目に入った場合は、直ちに流水で15分以上洗浄し、医師の手当てを受けて下さい。
3. 皮膚に触れた場合は、付着した部分を水または微温湯で十分洗浄して下さい。
4. 万一飲み込んだ場合は、診断を受けるまでの間に牛乳か水を飲ませて吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けて下さい。

### 保管上の注意事項

1. 直射日光および凍結を避けて保管して下さい。
2. 使用後の残液は缶を密閉して保管して下さい。

### 廃棄上の注意事項

1. 内容物を廃棄する時は、産業廃棄物処理業者に処理を委託するか、焼却により処理して下さい。下水、河川、湖沼等への廃棄は絶対に避けて下さい。
2. 容器を廃棄する時は、中身を完全に除去して下さい。

### 漏出時の注意事項

1. 少量流出の場合は、布、おが屑、砂などに吸収させて回収して下さい。
2. 大量流出の場合は、間に合わせの土堤を作るなどして拡散を防ぎ、容器に回収するかバキューム車で吸み上げて下さい。
3. 河川、湖沼への多量流出した場合は、広範囲に白濁汚染を起こす恐れがありますので、地方自治体の担当者に直ちに連絡して下さい。

\*詳しくは、製品安全データシート SDS をご参照下さい。

合成高分子エマルジョン

モルタル接着増強剤

# セルタイト® 10

塗布(吸水調整材)・混入用

### 荷 姿

- 18kg …………… ペール缶入り  
3kg×6ヶ …………… ダンボールケース入り

### ◎ホルムアルデヒド放散等級表示登録書

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0309016
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>

◎当商品は、以下の製品の何れも使用しておりません。

- ①ユリア樹脂・②メラミン樹脂・③フェノール樹脂・④レゾルシノール樹脂  
⑤ホルムアルデヒド系防腐剤・⑥メチロール基含有モノマー・⑦ロンガリット系触媒

### ●特約店

**DAICEL** **ダイセルミライズ株式会社**

産業資材営業部  
大阪支店：〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB 30階  
TEL:06-7639-7471 FAX:06-7639-7477 <https://www.daicelmiraizu.com>



**DAICEL**

**ダイセルミライズ株式会社**

# セルタイト-10

セルタイト-10は、モルタル混和用、吸水調整材として、総合化学の(株)ダイセルと協同で開発した、エチレン酢酸ビニル系ポリマーを主成分とし、さらに特殊な添加剤を配合した合成高分子エマルジョンです。

セルタイト-10をコンクリート打放し面などに吸水調整材として塗布またはモルタルに混入することにより、接着性・物理的な諸性質を向上・改善することができます。

## 特長

1. 塗布および混入することにより、安定した接着力を発揮します。
2. 水で簡単に希釈でき、作業性が良好です。
3. セメント混和性・接着性にすぐれたポリマーセメントモルタルが得られます。
4. 耐水性・耐アルカリ性が良好です。
5. 引火性・毒性・不快臭がありません。

## 性状

項目	規格値	
不揮発分(%)	35.5~38.0	105°C × 1hr
粘度(mPa·s)	400~1,400	23°C
ph	4.0~6.0	23°C、phメーター

## 施工方法

### 混入方法

材料	工法	薄塗り	モルタル	既調合モルタル25kg袋
セメント		25kg	25kg	
珪砂(8~5号)		20kg		
川砂			50~75kg	
セルブレン又はMC		20~45g	20~45g	
セルタイト-10		4~6kg	4~6kg	2kg

\*セメント・骨材等をよく空練りしてから、セルタイト-10基準量と水で練り加減に混練りして下さい。  
吸水が激しい下地にはセルタイト-10希釈液を塗布し、乾燥後に施工して下さい。

### 塗布工法(吸水調整材)

#### 調合および施工手順

用途	下地処理	希釈割合	塗布量(希釈液)	塗布面積/缶
コンクリート壁	水洗い乾燥後	セルタイト-10 1缶:清水2缶=3倍液	約180g/m <sup>2</sup>	300m <sup>2</sup>
軽量コンクリート壁	水洗い乾燥後	セルタイト-10 1缶:清水2缶=3倍液	約200g/m <sup>2</sup>	280m <sup>2</sup>
コンクリート床	水洗い乾燥後	セルタイト-10 1缶:清水3缶=4倍液	約200g/m <sup>2</sup>	360m <sup>2</sup>
ALC壁・床	水洗い乾燥後	セルタイト-10 1缶:清水4缶=5倍液	約400g/m <sup>2</sup>	200m <sup>2</sup>

\*ALC下地は吸水が激しいので、規定量を2回塗布して下さい。  
乾燥後モルタルを塗り付けて下さい。

## セルタイト-10の試験結果

### JIS A 6203 (セメント混和用ポリマーディスパージョン) 試験結果

試験の種類	試験項目	単位	試験結果	JIS A 6203における規定
ポリマーセメントモルタルの試験	単位容積質量	kg/ℓ	1.93	—
	曲げ強さ	N/mm <sup>2</sup>	12.5	8.0N/mm <sup>2</sup> 以上
	圧縮強さ	N/mm <sup>2</sup>	48.0	24.0N/mm <sup>2</sup> 以上
	接着強さ	N/mm <sup>2</sup>	2.6	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上
	吸水率	%	2.3	10.0%以下
	透水量	g	0.2	15g以下
	長さ変化率	%	0.064	0~0.150%

### 日本建築工学会 M-101セメントモルタル塗り用吸水調整材規格(案)に基づく試験結果

試験の種類	試験項目	測定値	規定
吸水試験	吸水性	0.41g	30分間で1g以下であること
接着強さ試験	標準状態	2.45N/mm <sup>2</sup>	ひび割れおよび剥がれがなく、接着強さが1.0N/mm <sup>2</sup> 以上で界面破断50%以下であること
	熱冷繰返し抵抗性	2.25N/mm <sup>2</sup>	
	凍結融解抵抗性	下地コンクリート内部破断のため測定不能	
	熱アルカリ溶液抵抗性	2.25N/mm <sup>2</sup>	

## 施工上の注意事項

1. 下地のゴミ・ホコリ・レイトンス・油污れ・剥離剤等は除去して下さい。
2. 下地の吸水の激しい場所は、吸込み調整のため、セルタイト-10希釈液を塗布して下さい。
3. 風通しのよい所、直射日光の当たる場所はシートで養生して下さい。
4. 1時間以上練り置いた材料は使用しないで下さい。
5. 気温3°C以下では施工を中止して下さい。